

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 9月15日

【評価実施概要】

事業所番号	0172901290		
法人名	グループホームゆうゆうの家		
事業所名	株式会社 三樹会		
所在地	旭川市豊岡8条2丁目1番8号 (電話) 0166-33-5577		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成19年9月14日	評価確定日	平成19年10月1日

【情報提供票より】 (平成19年9月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成	15年	5月	13日
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18	人
職員数	23 人	常勤17人,	非常勤 6人,	常勤換算16.3人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨ブロック	造り
	2階建ての	1～2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000 円	光熱水道費	6,000円	
		暖房費(10～4月)	8,400円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	200 円
	夕食	200 円	おやつ	円
	または1日当たり		円	

(4) 利用者の概要 (9月14日現在)

利用者人数	18名	男性	3名	女性	15名
要介護1	0	要介護2	2		
要介護3	4	要介護4	9		
要介護5	3	要支援2	0		
年齢	平均 84.11歳	最低	72歳	最高	95歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	整形外科進藤病院 菅野歯科医院
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は平成15年に開設し、病院を改築した建物内は、旧施設を感じさせないゆったりとした家庭的な雰囲気のホームとなっています。また、共用空間には鉢植えや利用者の作った作品等が飾られ、生活感と季節感を取り入れ、衛生管理が行き届き安心感のある暮らしの場となっています。介護度の高い利用者が多いが、「寝たきりを作らない」というホームの方針で、職員の温かい見守りを受け、自己のペースでゆったりと豊かな表情で過ごしています。また、利用者の多くが周辺症状が穏和し、自立と安定した生活を取り戻した姿は家族の喜びや安心、信頼となっています。「目の前にいるお年寄り」は「明日の私」との管理者の指導のもとで、全職員が「丸」となり質の向上を最優先に取り組み、利用者本意のサービス提供が軌道に乗っており、人間愛に満ちたアットホームなグループホームです。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価で指摘された相談・苦情への対応は重要事項説明書に明示されており、事故報告書の書式の改善も行なわれています。継続的な研修の受講は、研修参加費用を事業所負担とし、また職員数を増加しより多くの研修会受講が可能となっており、積極的な改善への取り組みがなされています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は職員全員が内容検討に参加し、活発な意見交換がなされ、現在の取り組みの一つとして、職員の意見の汲み上げや職員間の交流の一環として、BBS(掲示板)の活用を始めており、運営に活かされています。今回の自己評価及び外部評価で表出した解決すべき課題や改善の方策について、「改善計画シート」を活用し、計画的な取り組みを期待します。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は、2カ月に1回の開催があり、入居状況やケアサービスの内容、地域に根ざした運営など話し合いがもたれており、事業所の行事計画や実施状況、研修の報告が行なわれ、地域住民・家族から意見・提案が交わされています。自己評価や外部評価の内容を積極的に示しながら、ホーム災害時の地域ぐるみの協力体制や改善経過のモニター役を担ってもらうなど、サービスの向上に役立てることを期待します。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族来訪時には、生活の様子や介護・医療の状況を知らせるとともに、ホームの現状と運営について問いかけを行ない、玄関には「意見箱」を設置しています。家族とはコミュニケーションを大切にし、何でも言える関係作りが行なわれ、意見等は運営に反映しています。現在、普段の利用者の様子を伝える一助として、利用者個々のアルバムを製作中です。
重点項目③	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) ホームは町内会に加入し、町内会行事や地域活動に積極的に参加しています。また、近隣のボランティアからの申し出により歌謡曲の演奏会を開催するなど、地域との交流が深まっています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームの運営理念を見やすいところに明示し、理念の達成に向けて日夜努力されていますが、地域密着型サービスとしての理念の見直しや職員間での話し合いが行なわれていません。	○	地域密着型サービスとしての意義を全職員で確認し、ホームと地域の関係性を深めるようなホーム独自の理念を作り上げることを期待します。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者の日常的な指導のもとで、全職員は理念の本質を理解し共有を図り、ケアサービスの提供が行なわれています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内の行事や地域活動に積極的に参加しています。また、近隣のボランティアからの申し出により歌謡曲の演奏会を開催するなど、地域との付き合いも深まっています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者及び職員は、評価の重要性と意義を理解しており、全職員が自己評価に参加しながら作成と評価結果の問題点改善に意欲的に取り組んでおり、その取り組みの一つとして、職員の意見の汲みあげや職員間の交流の一環として、BBS（掲示板）の活用を始め、運営に活かされています。	○	評価に対する理解と取り組みは積極的に進められ問題はありませんが、さらに自己評価結果を踏まえた改善対策に改善計画シートを活用して、具体的な改善計画と継続的な取り組みを期待します。

旭川市 グループホーム ゆうゆうの家

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、2ヵ月に1回の開催があり、人居状況やケアサービスの内容、地域に根ざした運営など話し合いがもたれており、事業所の行事計画や実施状況、研修の報告が行なわれ、地域住民・家族から意見・提案が交わされています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市が開催する研修会や会議など積極的に参加し、申請書類提出時など適宜訪問して相談等を行なっているが、行政との連携は十分とはいえません。	○	地域グループホームとして市との連携のもと、何ができるかを市の担当者と意見交換を頻繁に行なうなど、積極的な働き掛けを行ない、協力関係を築かれることを期待します。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	来訪する家族が多く、その都度日々の暮らしぶりや心身状況を伝え、来訪できない家族には電話やお便りで伝えていきます。また、金銭出納状況は毎月家族に報告し、内容を確認してもらっています。現在、普段の利用者の様子を伝える一助として、利用者一人ひとりのアルバムを製作中です。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来訪時や電話の際に、職員の方から積極的に話し掛け、日頃から家族との交流を図り、気軽に意見・要望を話せるように配慮しています。さらに、家族を交えた行事の開催を今後予定しています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者は、利用者と馴染みの関係を継続することを大切にしており、職員の異動は最小限に抑えるよう努めています。また、新職員のフォローをできるような職員配置をし、利用者への不安・負担の軽減に配慮しています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者・管理者は人材育成の重要性を認識しており、年間計画も立てられて、職員一人ひとりの知識や経験に応じた外部研修に参加し、職員間での共有化も図られています。前回の外部評価で改善事項でしたが、良く改善され、研修参加費用も全て事業所負担とし、職員数も増加し、多くの研修会の受講が可能となり、職員のスキルアップへの体制が整っており、かつ実践されています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営者及び管理者は、地域の会議に積極的に参加し、ネットワーク作りに努めています。また、他事業所と協同し、相互に見学会を行ない、人材育成や質の向上を図る取り組みを行なっています。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には利用者、家族等と十分に面談を行ない見学していただいた後入居しています。入居初めの期間は本人がすぐにホームに慣れない場合は、家族に來所して頂くなど、信頼関係を築きながら、利用者及び家族が安心・納得できるよう適切なサービス開始の調整を行なっています。		
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者一人ひとりの希望や意向に合った対応を心掛けています。また、「介護する人・される人」の枠を越えて喜怒哀楽をともにし、絆を大切にしたい支え合う関係性を重視した介護が実践されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は、利用者一人ひとりの状態・要望を細部にわたり把握できるよう努めています。また、利用者との会話や家族からの情報収集を行ない、利用者の意向を尊重するよう取り組んでいます。また、職員は情報の共有化を図り日々のケアに活かしています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族の意向を尊重し、毎日の記録をもとにケアカンファレンスを行ない、きめ細かい介護計画を作成しています。家族には、利用者の現在の心身状態をわかりやすく文書化し、意見や要望を計画に反映させています。また、書式を改良し、より使いやすくするなど、質の向上に努めています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は利用者の状態により3、4、5ヵ月毎に定期見直しを行なっています。利用者の状態変化や必要に応じて本人・家族と話し合い、医療機関とも相談しながら現状に即した見直しを行ない、作成しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況に応じて、希望する掛け医への受診支援を行ない、柔軟に対応しています。また、医療連携加算の指定を受け、24時間安心できる体制を整備しています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族が希望する掛り付け医での受診支援を行なっています。また、受診内容はその都度電話で家族へ報告し、報告内容は記録として残されています。また、看護師が常勤しており、利用者は健康面についても気軽に相談することができ、職員は常に利用者の健康状態に配慮しながらケアサービスを提供しています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	既に看取りの経験もあり、重度化した場合や終末期のあり方について、早期から本人・家族・医療機関・管理者で話し合いがもたれています。また、全職員で意見交換を行ない方針の共有化が図られており、最大限の支援を行なう体制が整えられています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報を他言しないことは職員間で当然の遵守事項として認識されており、職員は利用者一人ひとりの性格を把握し、プライバシーを損ねることのない対応の徹底が図られています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者に対するケアサービスはホーム側の都合に合わせるのではなく、利用者の生活歴や体調やペースを大切に、その人らしい生活を送れるよう支援しています。		

旭川市 グループホーム ゆうゆうの家

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の際には、職員が同席して同じ食事を取りながら楽しく食事ができるよう支援しています。利用者の希望や季節感のある食材を用いた献立が作られています。また、利用者の力量に応じて作業内容を分けて、利用者と職員が食事の準備や後片付けなどを一緒に行なっています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者ごとに入浴日を決め、交代で入浴していますが、決められた日時以外でも希望があれば入浴でき、利用者の状態によりシャワー浴や足浴も行なわれています。夜の入浴も可能ですが希望する利用者はおらず、現在は実施されていません。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者のできることや趣味を活かせるように支援しており、食事の準備と片付けや生活歴を活かした役割、レクリエーション等の楽しみごとなどの実施によって日常の暮らしに張り合いや喜びを見出せるように努めています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近所の商店への散歩、買物、お寺参り、ドライブなど、利用者一人ひとりの希望に沿えるような外出支援を実践しています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全職員が鍵を掛けない安全な暮らしについて理解しており、日中は施錠していません。職員は外出傾向のある利用者を把握しており、外出する様子の時には、さりげなく声掛けを行なっています。		

旭川市 グループホーム ゆうゆうの家

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回避難訓練を実施し、災害時に備えた水・食料を備蓄したり毛布・タオルを用意するなど準備もされています。しかし、消防署との連携や町内会や地域住民への働き掛けは行なわれておらず、協力体制を築くまでには至っていません。	○	運営推進会議等を活かし、さらに周辺地域の人々にも災害発生時に協力を頂くよう日頃からの働き掛けや避難訓練の実施等が望まれます。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の水分摂取量、食事量など個別記録され職員が情報を共有しています。また、利用者一人ひとりの嗜好を把握し、栄養バランスも配慮した献立を職員の栄養士が立てています。水分量は1日1800ccを目安にこまめに提供されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関にはプランターに植えられた花が飾られ、共用空間は明るく広く清潔でゆったりしており、利用者は思い思いの場所で寛いでいました。気になる臭いも全くなく、音・光等も適宜調節されています。随時、利用者の状態に応じ、要所に高さ、使いやすさを考えた手すりが設置されています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、利用者本人が使い慣れた馴染みの家具・装飾品・手作りの品などが持ち込まれており、居心地良く過ごせる工夫がされています。また、洗面台やトイレが設けられている居室もあり、ゆっくり寛げるような雰囲気有しています。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。